



SPORTY DRIVING PARTS

MS341-120##

フロントスポイラー

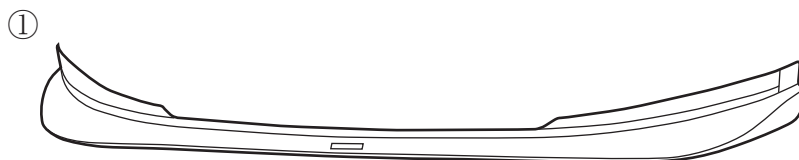
取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
 本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱についての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。
 なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

本商品は、車両登録後に取付けを行って下さい。
 登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要となります。

□構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	色/備考
①	フロントスポイラー	MS341-12007	1	ホワイトパールクリスタルシャイン(070)
		MS341-12008	1	シルバーメタリック(1C0)
		MS341-12009	1	ブラックマイカ(209)
		MS341-12010	1	レッドマイカメタリック(3R3)
		MS341-12006	1	素地(プライマー処理品)
②	タッピングスクリュー		2	
③	サスナット		2	
④	クッション		6	
⑤	エンブレム		1	
⑥	パックプライマー (素地品のみ)		(1)	
⑦	モール(素地品のみ)		(各1)	黒/グレー
⑧	取付・取扱要領書		1	



Racing Development





トヨタ テクノクラブ株式会社・TRD

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045) 540-2121 FAX (045) 540-2122

■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災に及ぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれのあること。
 注意	記載事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあること。

- △ 注意(1) 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施して下さい。
- △ 警告(2) 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後、行って下さい。不安定な場所で作業、車が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
- △ 確認(3) 本商品は過去に事故歴のない車に確実に装着できます。
- △ 確認(4) 本商品到着後はすぐに、本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることを検品して下さい。
- △ 注意(5) 本商品(品番MS341-12006のみ)は未塗装のため、車両の塗装色に合わせた塗装が必要になります。塗装せずに生地そのまま使用しますと、耐候性が劣ります。
- △ 警告(6) 焼付け塗装の際に、焼付温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが生じますので、焼付温度には充分ご注意下さい。
- △ 警告(7) 本商品への改造・加工は絶対に行わないで下さい。破損や事故の原因となります。
- △ 警告(8) 本商品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や事故の原因となります。
- △ 警告(9) 取付けの際は、本書の指示に従って各ナットを締付けて下さい。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが生じ、脱落等により重大な事故の原因となります。
- △ 注意(10) 装着初期は、ボルト・ナット類が緩みやすいので、走行前にはかならず増締めを行って下さい。
- △ 注意(11) 他社製品による改造箇所がある車両では、場合によっては本商品本来の性能を十分に発揮できないことがあります。
- △ 警告(12) 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談下さい。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- △ 警告(13) 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をお止め下さい。
- △ 警告(14) 走行中に異常な振動や音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
- △ 警告(15) 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止め下さい。
- △ 警告(16) 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては充分にご注意下さい。
- △ 注意(17) 塗装後のお手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないで下さい。変色・変形の原因となります。
- △ 注意(18) 取付作業や走行にともない、車両本体または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着手順を必ずお守り下さい。

□組付要領

1. モールの貼付(未塗装品のみ)

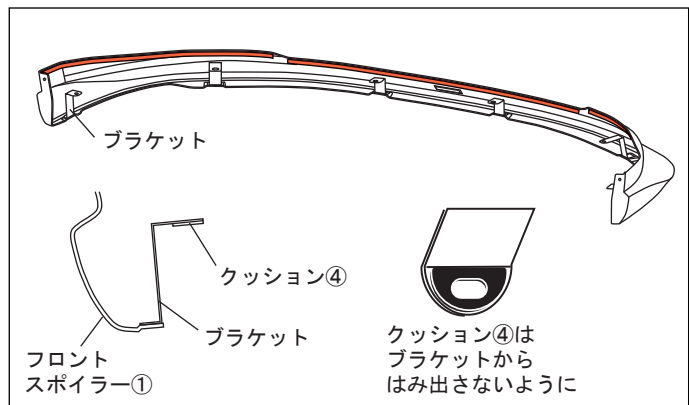
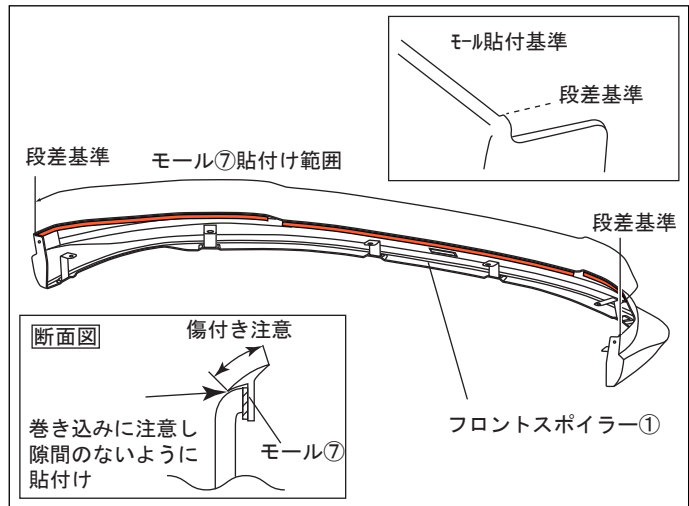
- (1) 塗装後、図のようにフロントスポイラー①に、モール⑦の両面テープの離型紙を剥がし、貼付ける。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール⑦を貼付ける部分は、アルコール等で脱脂後にプライマー⑥を塗布して下さい。脱脂・プライマー塗布後は十分に乾燥させて下さい。

2. クッションの貼付

- (1) 図のようにフロントスポイラー①のブラケット(6箇所)の裏側に、クッション④の両面テープの離型紙を剥がし、貼付ける。

△注意：クッション④を貼付ける部分は、アルコール等で脱脂して下さい。脱脂後は十分に乾燥させて下さい。

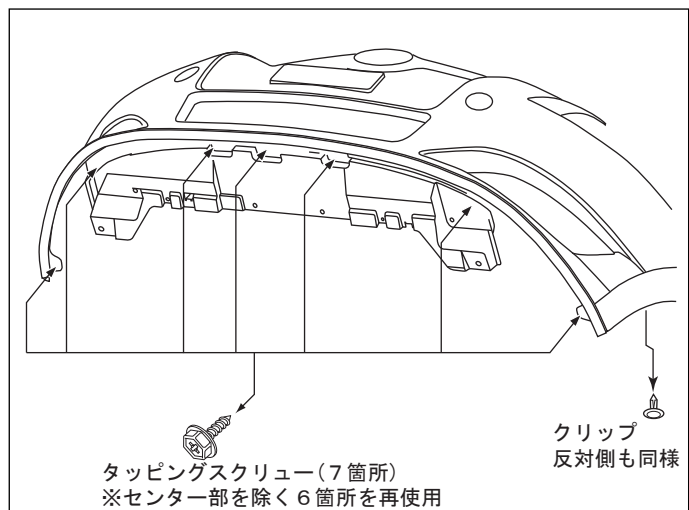


□取付要領

1. 純正スポイラーの取外し

- (1) 車両整備書を参考にし、純正スポイラーを取外す。

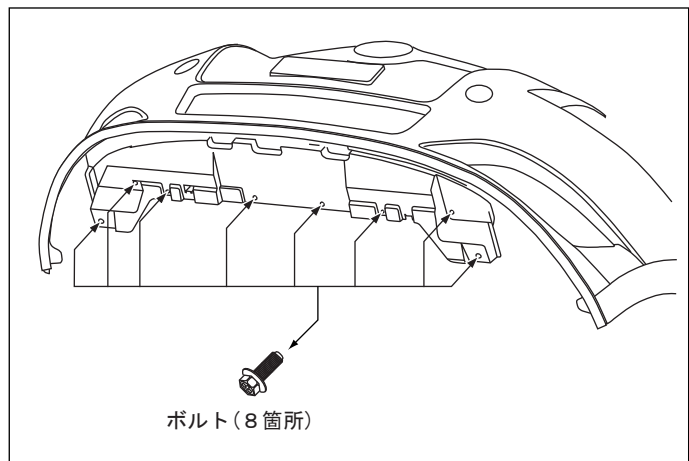
△注意：取外したタッピングスクリュー・クリップは再使用しますので、無くさない様に必ず保管して下さい。



2. エンジンアンダーカバーの取外し

- (1) 車両整備書を参考にし、エンジンアンダーカバーを取外す。

△注意：取外したボルトは再使用しますので、無くさない様に必ず保管して下さい。



3. 取付け穴加工

- (1) 図のようにホイールハウス部の折り返し下側の角から45mmの所に目印をつける。
- (2) 図のように目印からバンパー端末に対して垂直に9mmの所に刻印する。
- (3) 図のようにφ3、φ6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつける。
- (4) φ3のドリルを使用してホイールハウスの刻印位置(2箇所)に下穴をあける。

アドバイス：穴あけ加工時は、ドリルはホイールハウスに対して垂直にし、刻印位置からズレないように注意して下さい。

注意：作業時は保護手袋および保護メガネを着用して下さい。

- (5) 下穴(2箇所)にφ6のドリルで穴をあける。
- (6) 穴のバリを取り除く。

注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いて下さい。

4. フェンダーライナーの加工

- (1) 図のようにフェンダーライナーのくぼみ形状の上側の角から20mmの所から上に20mmまでの部分を10mmの幅でニッパーなどで切り取る。(斜線部)

注意：フェンダーライナーの加工を行わないとタッピングスクリューと干渉します。

5. 取付け準備

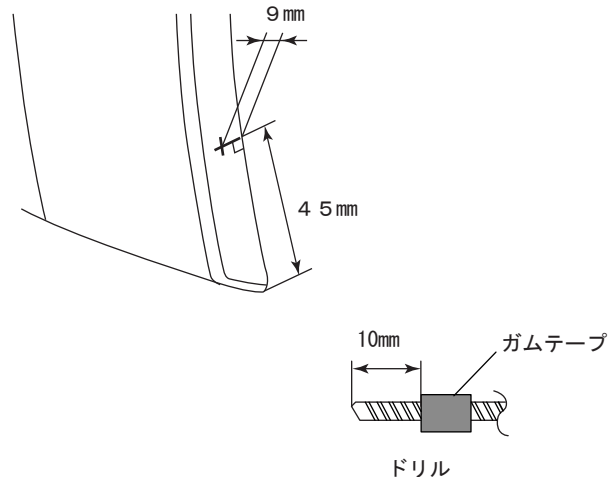
- (1) 図のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①の取付部の汚れを取り除き、アルコール等で脱脂する。
- (2) 図のようにフロントバンパー中央に、R止りから7.5mmの所に取付け高さ基準をマスキングテープでマーキングする。

注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面及び接着面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けて下さい。

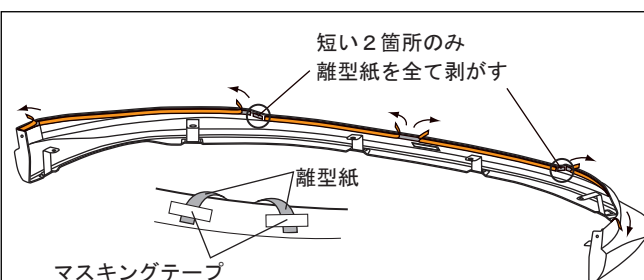
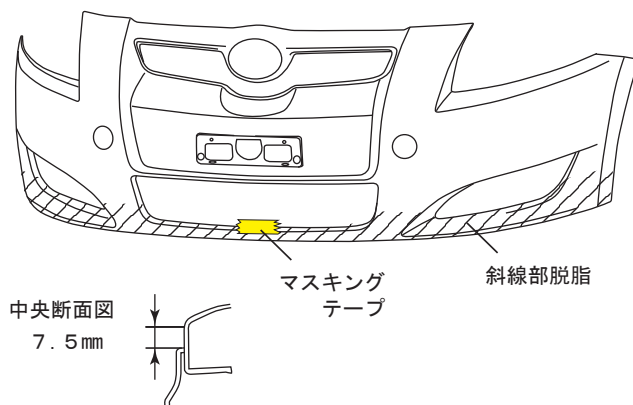
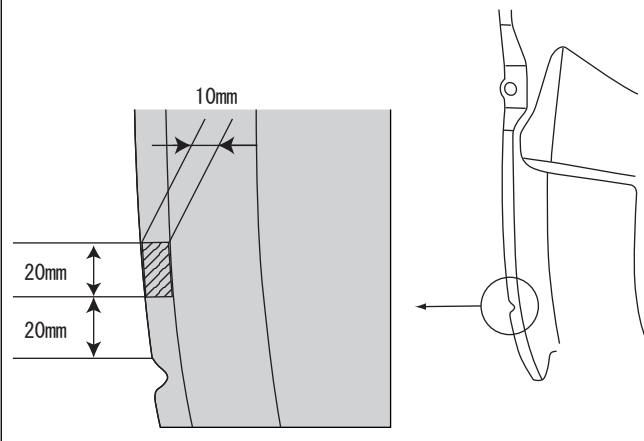
- (3) フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図のように短い2箇所は全て剥がす。その他の部分は、中央から外側に約3cm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(6箇所)

注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと正しい取付位置に取付けにくくなります。

図はLHですがRHも同様に作業を行ってください



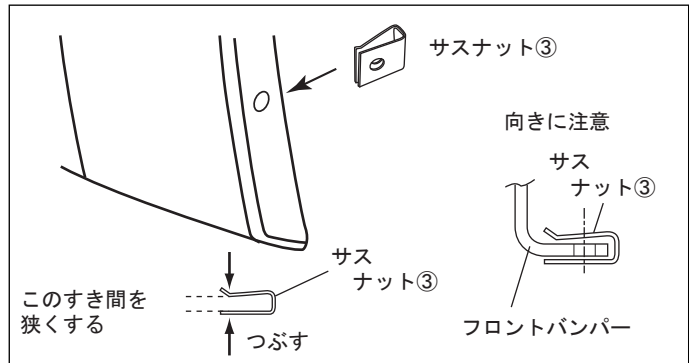
図はLHですがRHも同様に作業を行ってください



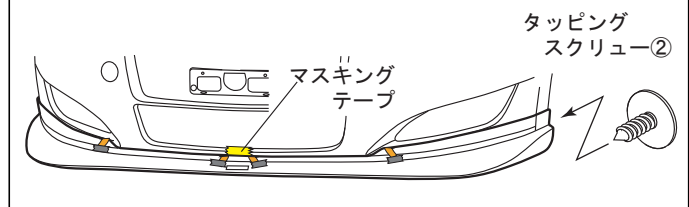
- (4) 図のようにフロントバンパーのホイールハウスの穴あけをした場所に、サスナット③をはさむ。

⚠注意：図のようにサスナット③の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー②が取り付けなくなります。

👉アドバイス：サスナット③が緩い場合はプライヤー等でつぶして使用して下さい。

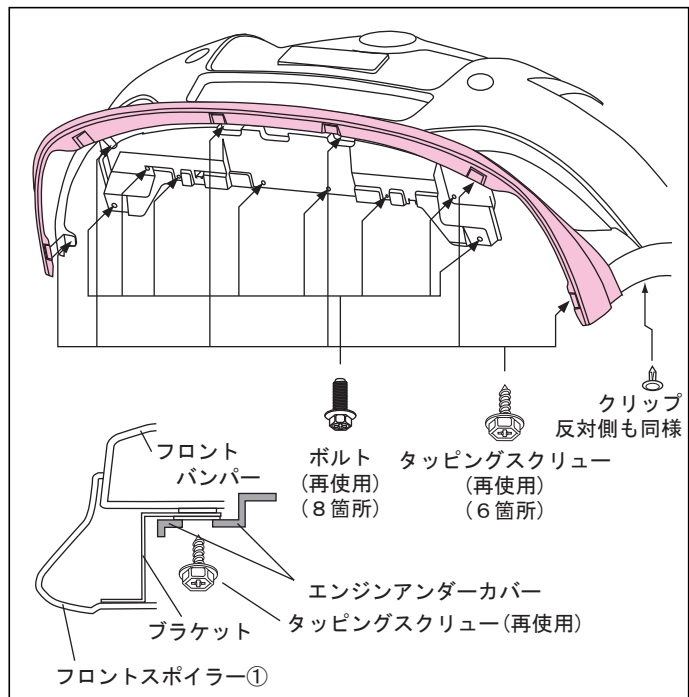


- (5) フロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、ホイールハウスをタッピングスクリュー②(2箇所)で仮止めする。



- (6) 図のように下面ブラケットを、フロントバンパーとエンジンアンダーカバーの間にはさみ込み、純正スポイラーとエンジンアンダーカバーを取外したタッピングスクリュー(6箇所)と取付ボルト(8箇所)で仮止めする。

- (7) ホイールハウスのクリップを取付ける。

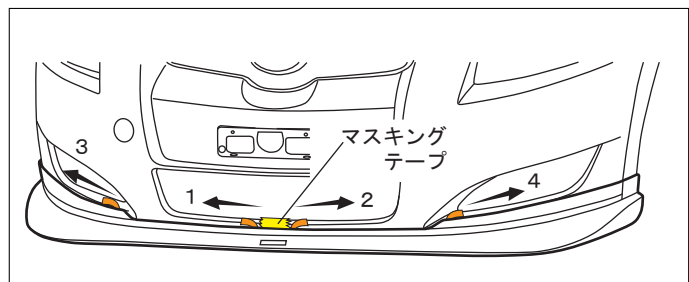


- (8) フロントスポイラー①を(2)でマーキングした高さに合わせて、左右のズレ・スキが無いを確認し、両面テープの離型紙を番号順にゆっくり剥がし、十分に圧着します。

⚠注意：両面テープの離型紙を外側から先に剥がすとスキが発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないで下さい。



- (9) フロントスポイラー①のホイールハウスのタッピングスクリュー②と下面のタッピングスクリューとエンジンアンダーカバー取付ボルトを本締めする。

- (10) フロントスポイラー①の中央の座面の汚れを取り除き、アルコール等で脱脂する。

- (11) 脱脂した座面にエンブレム⑤を貼付ける。

